

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	国際基督教大学	整理番号	1-1-003
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	責任ある地球市民を育むリベラル・アーツ		
申請単位	学部単位		
申請担当者	鈴木典比古		
(取組の概要)			
<p>国際基督教大学の教養学部は 50 年の歴史をもつ日本で唯一の「本格的リベラル・アーツ型」であり、国際性、キリスト教、学術性の三つの使命を掲げ、「責任ある地球市民」を育む事を目的として、以下のような特徴ある取組を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 学術基礎教育の取組—批判的分析思考能力 (Critical Thinking) 等のアカデミック能力の訓練を英語で十分に行う。</li> <li>b. 教養学部 1 学部制—教養学部の中に 6 学科 25 専修分野を擁し、知識の統合と意味の探求を行う。勉学の進行に応じて転科や学科間専攻も可能。</li> <li>c. グローバルの取組—バイリンガルなキャンパス・コミュニティを形成し、キャンパスに居ながらにして国際社会を経験する。海外留学制度も充実し留学先から 30 単位分の履修科目を持ち帰れる。</li> <li>d. リベラル・アーツの現代化—「行動するリベラル・アーツ」を最初に提唱した。世界を舞台に本学で身につけた「教養」を「行動」に移す。</li> <li>e. 学習支援と学生の自主性尊重—アドバイザー制度、GPA 制度、FD 活動、大学カウンセラー制度等、学生の主体的活動と自己陶冶の機会を大学が十分用意する。</li> </ul>			
(採択理由)			
<p>この取組は、国際基督教大学の教育方針である、責任ある地球市民を育成するリベラル・アーツ教育を実現するために、全学的な意思決定のもとに長い伝統を踏まえて実施されてきた取組です。時代と社会の要請に応えるべく授業評価なども早くから取り込み、学生の高い評価を得て学術基礎教育の充実を図っており、他大学に対してもモデルとなる多くの内容を備えている先駆的取組です。この取組が目指している行動するリベラル・アーツ教育の優れた成果を、より一層具体的に外部へと情報発信していくことを含めて、リベラル・アーツ教育の模範的事例として広く公開されていくことを期待します。</p>			